

日本のクワガタムシ

日本には13属48種101亜種のクワガタムシが生息しており、それぞれが異なる生態を持つ。

4～5月には河原でマグソクワガタ、5～6月には高標高のブナ帯でルリクワガタが活動を始める。

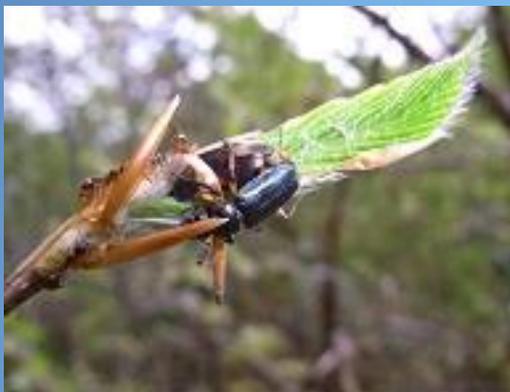


写真)ブナの新芽を齧るユキグニコルリクワガタ(*Platycerus albisomni*)のペア

5月下旬からはオオクワガタやノギリクワガタ等、お馴染みのクワガタムシが姿を現す。また、高標高のヤナギ、カンバ等にはヒメオオクワガタやアカアシクワガタなどが集まり、8月中旬～9月中旬にそのピークを迎える。



写真左)樹液に群がるノギリクワガタ(*Prosopocoilus inclinatus*)
写真右)ヤナギの枝に付くヒメオオクワガタ(*Dorcus montivagus*)